

未来の北上川流域を考える自治体連携会議の開催

- 令和4年12月20日（火）宮城県石巻市内において、齋藤石巻市長の声かけにより、北上川流域の7首長（宮城県石巻市、登米市、涌谷町、岩手県一関市、平泉町、盛岡市、岩手町）と流域関係者約60名が参加し開催。
- 岩手大学元学長の平山健一名誉教授による基調講演「市民活動から見た自治体連携への期待」では、北上川流域での市民団体活動の成果と変遷について、当時の想いや苦労を含めて熱量ある講演をいただいた。
- パネルディスカッションでは、7自治体の首長から各地域の水辺の特徴と歴史や治水対策、これまでの自治体間の連携交流について紹介いただくとともに、地域の課題や今後の自治体連携のあり方のメッセージを発表。
- 平山名誉教授と参加首長は、流域の自治体連携についての重要性を再認識しながら、語り合っていた。
- 平山名誉教授から人材育成や市民団体と各自治体が連携することの必要性や観光面の重要性、更には、今回の会議が流域連携の推進につながることに期待しているとの発言を頂き閉会。

未来の北上川流域を考える自治体連携会議（石巻商工会議所）

1. あいさつ
2. 祝辞
3. 基調講演 岩手大学名誉教授（北上川流域圏フォーラム代表）平山健一
演題「市民活動から見た自治体連携への期待」
4. 石巻の水辺紹介
5. パネルディスカッション
テーマ 「北上川流域における自治体連携のあり方」



▲ 平山名誉教授（岩手大学）



▲ 齋藤市長（石巻市）



▲ 熊谷市長（登米市）



▲ 佐藤市長（一関市）



▲ 佐々木町長（岩手町）



▲ 板屋河川部長



▲ 集合写真



▲ いしのまきの水辺紹介